

余裕期間の設定のイメージ

発注者指定方式の例

【発注時】

落札決定日 契約締結日(予定) 工事着手日(発注者が指定) 工事完成日

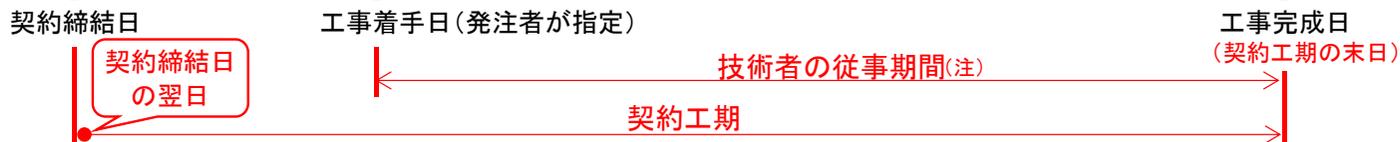
7日 余裕期間 60日 工期(準備・後片付け期間を含む) 100日

【契約締結時】

7日 余裕期間 60日 工期(準備・後片付け期間を含む) 100日

※すべての期間及び日にちにおいて変更は生じない

【コリンズ登録上】



任意着手方式の例

【発注時】

落札決定日 契約締結日(予定) 工事着手期限日(発注者が指定)

7日 60日 工期(準備・後片付け期間を含む) 100日

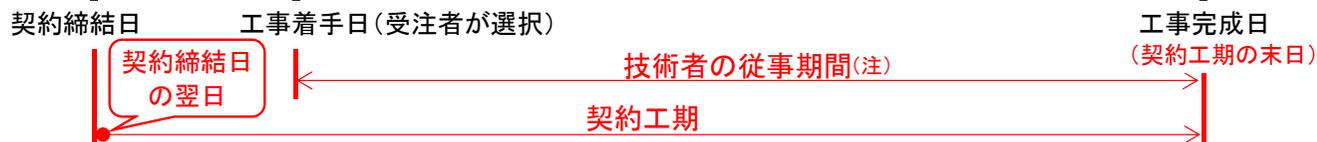
【契約締結時】

7日 余裕期間 40日 工期(準備・後片付け期間を含む) 100日

※発注者が示す工事着手期限日までに、受注者が工事着手日を選択

※工期(100日)に変更は生じない

【コリンズ登録上】



(注) 契約工期の末日より前に竣工登録する場合には、契約工期の末日はそのままにして、技術者の「従事期間」を「実際に従事した期間」に変更すること。